

## ●短期大学部

### 1. 教育研究上の目的

本大学は高等学校の教育の基礎の上に生物生産技術学、環境緑地学、醸造学及び栄養学に関する実際的専門職業に重きを置く大学教育を施し、良き社会人を育成することを目的とする。

### 2. カリキュラムポリシー

短期大学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、専門知識と、その応用力の修得の為、以下のことに配慮しながら、教育課程を編成し、これに従い教育を行う。

- (1) 専門科目の導入的な科目を学部共通科目として配置し、広く知識・教養を身に付けさせる。
- (2) 専門知識の修得に必要な、基礎科目を配置する。
- (3) 専門知識を深く理解するための、専門科目を配置する。
- (4) 実践的な技術と応用力を修得するための、実践的科目を配置する。

## ●生物生産技術学科

### 1. 教育研究上の目的

本学科は、動物と植物の生産を有機的に結合し、地球環境の保全にも配慮した生物生産体系の確立を目指して、講義と実験・実習・演習を連動させた特色あるプログラムによる実学教育を行うことにより、実践的な専門知識と教養を兼ね備えた専門職社会人として社会に貢献できる人材を養成する。

### 2. カリキュラムポリシー

生物生産技術学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 専門科目の導入的な科目を学部共通科目として配置し、広く知識・教養を身に付けるための科目。
- (2) 専門教育をより深く理解するため、専門知識、問題解決力を身に付けるための科目。
- (3) 実践的な専門知識を修得させるための実験・実習科目。技術・経験を高め、職業意識を向上させるインターンシップ。
- (4) 実験・調査結果から問題解決能力、表現力、コミュニケーション力を高めるための卒業論文。

## ●環境緑地学科

### 1. 教育研究上の目的

本学科は、人と生物とが共存できる緑豊かな生活環境の創造をめざして、人格の陶冶、基礎理論に裏打ちされた思考から現場での問題を解決できる応用能力を身に付け、環境緑化及び造園業の自営者や後継者、緑化・花卉関連産業の第一線で活躍し、その発展に寄与しうる行動力のある人材を養成する。

### 2. カリキュラムポリシー

環境緑地学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 緑豊かな生活環境創造に必要な基礎科学と基礎技術に関連する科目。
- (2) 緑豊かな生活環境創造に必要な関連諸知識と技術、及びそれらを応用して問題を解決する実践力を身に付けるための科目。
- (3) 設定目標の実現や問題解決のための、相手を理解・評価し、自分の考えを伝えるとともに誤りを訂正する能力（理解力、発表力、討議力）を身に付けるための科目。
- (4) 設定目標の実現や問題解決のための課題を設定し、それについて具体的に取り組み、まとめ、発表する能力を身に付けるための科目。

## ●醸造学科

### 1. 教育研究上の目的

本学科は、実学主義に基づいた実験・実習・演習科目を重視したカリキュラム構成であり、基礎学力の向上とともに最新科学技術と我が国伝統の醸造技術を総合的に学ぶ点の特徴としている。これらを基に、醸造食品業界をはじめとする社会の様々なニーズに即応可能な実践力を有する人材を養成する。

### 2. カリキュラムポリシー

醸造学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 食品製造に必要な基礎科目として、広く知識・教養を身に付ける科目。
- (2) 製造技術を学ぶための基礎科目。
- (3) 製造技術の実践的科目。
- (4) 実践的な技術を修得するための、醸造特別実習科目。